

## 2024 年度事業計画

### 2024 年度の運営方針

過ぎた 2023 年度は、ウクライナ戦争の越年で始まり、戦争は膠着状態になり、中国のバブル崩壊は深刻化しつつあり、企業の倒産や外資の撤退なども増え、失業率が高まっています。米国は、自国のインフレ抑止のために、昨年連続して利上げをしましたが、まだそのリスクが続いているようです。加えて、昨年 10 月にはパレスチナ・ガザ地区の Hamas がイスラエルに戦争を仕掛け、イスラエルがこれに激しく反発し、Hamas などの後ろ盾であるイランとの戦争に拡大する兆しが出てきています。台湾有事もあり、様々な戦争と戦争の兆しにより、世界のサプライチェーンが大きく分断されつつあり、世界の GDP は今後大きく低下するものと予測されています。

世界経済、特に欧州経済、中国経済などが低迷していく中で、西欧と国連が推進する脱炭素政策が南北問題に変容しつつあり、途上国は「先進国の排出した二酸化炭素により洪水等の気候災害が増加した」として、その補償を求めるようになっていきます (COP27~28)。同時に、西欧・国連の求める脱炭素の具体策として、石炭火力発電の停止と再エネの推進、ガソリン車の禁止と電気自動車の普及などの政策を進めていますが、二酸化炭素の排出は減っておらず、炭素税でエネルギー価格が高騰し、中東欧などは暖房も困難な状況になっており、脱炭素政策が破綻しつつあります。

戦後初の三年続きのラニーニャ現象 (2020-22) により、南太平洋の海水温が上がり、黒潮の温度も上昇し、このため南の魚が北上したり、北海道でブリやシイラが獲れたり、北のサケやサンマが獲れなくなる異常が続きました。エルニーニョ・ラニーニャ現象も太陽の影響で 10 年前後の周期で起こるとされており、温暖化のお陰で近年、北海道・東北に冷害がなくなり、暖房費も少なくて済み、北海道は日本の穀倉地帯になり、多くの恩恵を受けています。

### 現代の「脱プラ」は難しい

数年ほど前に出てきた「脱プラ」という言葉は、各論で検討してみると現実的にはかなり難しいものです。プラスチックを使わないと、多くの紙容器が使えなくなり、金属缶も塗装缶が使えなくなります。そもそもプラスチックがなければ、食品・医薬品などの多くが包装できなきますし、紙容器は PL がなく、パルプを作るところでの多くのエネルギーを使い、世界の森林も減少の一途です。包装機械も多くがプラスチックを前提に作られており、脱プラに対応できるのは限定的です。欧州で進められているプラ包材のモノマテリアル化も、それほど進んでいるとは言えないようで、日本でも分別回収システム自体を大きく改めないかぎり実現は無理です。モノマテリアル化では、食のロングライフ化を進める日本の機能性包材も、災害備蓄食品を包装しているハイバリアー包材も難しくなります。

プラスチックの日常生活に果たす重要な役割を考え、日本が 50 年以上に亘って積み上げてきた分別回収システムを広くアジアの国々に普及させ、途上国から出される海洋プラを減らし、日本が率

先して海洋プラ問題の解決に向けて努力していくことは、日本に課せられた重要な課題です。

2019年のG20における環境宣言では「海洋プラ問題のイニシアは日本が採る」との決意を表明しています。

## プラスチック包装の担う役割

食品ロスを削減し、地震等の災害に備えるために、食品のロングライフ化が進められていますが、この目的で使われるアクティブ包装の分野では、脱酸素や抗菌、アクティブバリアーなど多くの包装資材や包装技術が必要です。これらの多くは日本発の包装技術・資材です。

2020年6月に実施された食品用プラスチック包材のポジティブリスト（PL）制度により、アクティブ包装技術として認可された各種の機能性包装資材を広く世界に普及させることにより、多くの食品をロングライフ化させ、世界的に食品ロスを削減していくことに貢献することが期待されます。機能性包装による食品のロングライフ化は「食品を無駄にしない」「災害時に備える」といった視点や、「いつでもどこでも利用できる」という簡便性の視点や、「安心して海外に輸出できる」という新しいニーズに対応する重要な技術です。消費者・流通業者等に包装の意味と役割を理解して貰う必要がありますが、同時に生活者への広報も非常に重要な課題になります。

## 食包協の活動の復活と拡大

2020～2022年までの3年間は、新型コロナの感染拡大により、多くのイベントを中止せざるを得ませんでした。食包協では、2022年の年初からZOOMによるウェブ化を推進し、協会内の会議はもとより、セミナー、シンポジウム、展示会などのイベントをウェブにより開催し、会報やホームページなどによる情報発信の体制も整いましたので、休眠中の活動も順次復活させて行きたいと考えています。一昨年5月から開始した「食品包装学校」や、リニューアルした「人材育成講座」など、活動の幅を広げてきています。

## 食品包装関連団体とのコラボの推進

食包協は、これまで食品品質保持技術研究会、日本包装機械工業会、日本包装技術協会などとのコラボを行ってきていますが、お陰様で当方の行事にも多くの方々に参加を頂き、当協会からも様々な事業に参加させて頂いています。昨年からはウェブの利用によって復活した諸行事で、相互に協力を進めていきたいと考えています。これからも多くの関連団体とのコラボを進めていきたいと考えています。

日本食品包装協会のメインテーマである「食品包装」は、日本の食を支える「食品産業」と、食品にとって不可欠な包装資材と包装機械を提供する「包装産業」とのマッチングで支えられています。当協会は、食品包装に関する様々な情報を提供するとともに、「災害などに備えたロングライフ食品の開発」や「輸出振興に役立つ包装」「食品ロスの削減」「スマート包装」「機能性包装」などに関する情報提供にも力を注いでいきたいと考えています。

日本の食を支える「食品産業」（食品製造・配送・販売・外食）とそれを支える「包装産業」は、事業規模も就業人口も大きく、極めて学際的・業際的な分野であり、非常に奥の深い大きな産業分野になっています。私達の日常生活に欠かすことのできない食糧・食品・農畜水産物を安定的に供

給する役割を担う重要な産業になっています。これらの食料供給システムの円滑化に貢献すべく、引き続き関連情報の発信に努めて参ります。そのためにも、ホームページのコンテンツや会報を充実させ、会員の皆様へのサービスに努め、ご要望をお聞きしつつ、本年も事業活動の充実を図って参りますので、何卒宜しくご支援の程お願い申し上げます。

## **平成6年度における食包協の諸事業の推進**

これまで食包協では、人材育成講座、食品包装シンポジウム、Next Package 展示会、食品包装セミナー、勉強会、食品包装検定、見学会などの様々なイベントや食包協会報、ホームページや書籍の出版などで情報の発信を行ってきました。勉強会、見学会、食品包装検定はまだ復活していませんが、今年度は順次復活させていく予定です。

### **人材育成講座をリニューアル**

昨年度は、人材育成として人気のある人材育成講座の内容をリニューアルし、講座数を増やし、多くの方々に参加して頂いています。今年度も引き続き、講義資料をリニューアルし、皆様の期待に応えていきたいと考えています。

### **食品包装シンポジウムで環境を論議**

昨年度は第55回のシンポジウムで、大御所の有田先生に参加して頂き、「食品包装の脱ガラパゴス化」の第3弾を実施し、多くの方にご参集いただきました。今年度は、「環境問題をめぐる食品包装の課題」を取り上げて、パネルディスカッションを行いたいと思います。多数のご参加を期待します。

### **Next Package 展示会による食品包装技術の発信**

昨年の展示会は、参加企業数も増え、元のようにたくさんの参加者で賑わいました。今年度は、参加企業、参加者共に増えることを考え、展示会場を広くして、昨年以上の参加者を集め、皆様の期待に応えたいと考えています。

### **人材育成活動を担う「食品包装学校」の開校と第三期を迎えて**

「食品包装学校」は、本年度は第三期を開校することになります。食品包装を大学で殆ど教えていないことから、大学などでは学べない「食品包装」に特化した知識を提供する「総合的な教育の場」として5月から開校致します。多くの参加を期待したいと思います。

## 2024 年度事業計画

		2024年度(令和6年) 事業計画					2024.4.24		
				*黒文字：決定、赤文字：未定					
				事業・行事内容			備考		
		委員会	会報発行	食品包装学校	食包人材育成講座	食品包装セミナー		他事業(展示会、シンポジウム、検定試験他)	
2 0 2 4 年  ( 令 和 6 年 )	4月	第1回運営委員会 (4/12金 15:00~)	第182号 4/16 HP掲載						
		第1回通常理事会 (Web開催) (4/24水 15:00~17:00)							
	5月	2024年度定時社員総会 (ハイブリッド開催) (5/24金 10:00~12:00) ・印刷会館2F		第8期食品包装学校(リアル) 開校式&2 講座(13:30~17:00) *5/10金：北とびあ					
	6月	第2回運営委員会 (6/14金 15:00~)		食品包装学校 (4 講座) (オンデマンド配信)			第1回食品包装セミナー Zoom(6/12水 15:30~)		
	7月		第183号 7/00 HP掲載	食品包装学校 (4 講座) (オンデマンド配信)  フォローアップ!	<第1回オンライン配信> 第32回人材育成講座(初級) <7/2火、9火、16火>		第2回食品包装セミナー Zoom(7/24水 15:30~)	勉強会 (日程検討中)	
	8月	第8回運営委員会 (8/9金 15:00~)		食品包装学校 (2 講座) (オンデマンド配信)					
	9月			食品包装学校 (4 講座) (オンデマンド配信) フォローアップ! ■FPスペシャリストの集い (9/20(金)13:30~) 北とびあ&リアル			第3回食品包装セミナー Zoom(9/11水 15:30~)	食品包装検定試験(午前・午後各1回) <食包協 1 事務局>	
	10月	第4回運営委員会 (10/11金 15:00~)	第184号 10/00 HP掲載	食品包装学校 (4 講座) (オンデマンド配信)  フォローアップ演習 (00/00金)13:30~ <北とびあ&WEB>	<第2回オンデマンド配信> 第33回人材育成講座(初級) (10/8火~、15火~、22火~)		第4回食品包装セミナー Zoom(10/16水 15:30~)		
	11月			食品包装学校 (4 講座) (オンデマンド配信)				第7回 NEXT PACKAGE 2024 リアル展示会(秋葉原UDXにて) <11/28木10:00~17:30>	
	12月	第5回運営委員会 (12/13金 15:00~)		食品包装学校 (4 講座) (オンデマンド配信) フォローアップ!			第6回食品包装セミナー Zoom(12/18水 15:30~)		
	2025年	1月	第2回通常理事会 (ハイブリッド開催) (0/00金)15:00~	第185号 1/00 HP掲載	食品包装学校 (4 講座) (オンデマンド配信)  フォローアップ!				2025年度包装界合同新年会
		2月	第6回運営委員会 (2/14金 15:00~)		食品包装学校 (3 講座) (オンデマンド配信)  <北とびあ&WEB>	<第3回オンデマンド配信> 第34回人材育成講座(初級) (2/3月~、10月~、17月~)	第6回食品包装セミナー Zoom(2/19水 15:30~)	第56回食品包装シンポジウム リアル開催(北とびあ第1研修室) <2/00 10:00~16:00>	
	3月			第3期食品包装学校 1講座 & 修了式 (リアル) ・会場：北とびあ (3/14金13:30~)					

\*見学会：未定